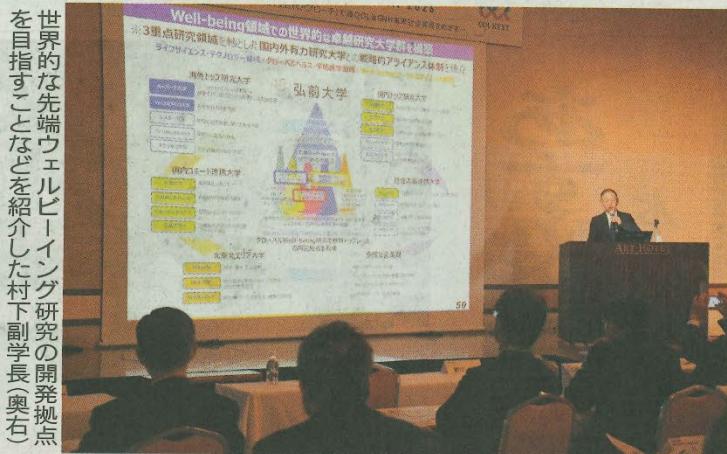


## 弘大COIネクストサミット

# 社会実装の最前線紹介



世界的な先端ウェルビーイング研究の開発拠点  
を指すことなどを紹介した村下副学長(奥右)

## 弘前 国内外から3100人参加

弘前大COIネクストは、健康を基軸とした経済発展モデルと全世代へのアプローチによって「ウェルビーイングな地域共創社会」の実現を目指す取り組みで、弘前市などと共同で実施する大規模住民合同健診「岩木健康増進プロジェクト」の超多項目な健康ビッグデータを核に、多くの企業や大学が参画して研究を進めている。

サミットは弘前大と県、弘前市が主催。東京大の大江和彦名誉教授らによる特別講演に続いて、特別企画では地元自治体が弘前大開発の「QOL健診」を活用した取り組み、参画企業が共同研究の成果や社会実装の最前線を紹介した。

ウェルビーイング（心身と社会的に健やかで幸せな状態）な共創社会の創造を考える「弘前大学COI-NEXT（ネクスト）ウェルビーイングイノベーションサミット2026」が6日、アートホテル弘前シティで開かれた。会場とオンラインを合わせて国内外から約3100人が参加し、特別講演や特別企画などを通じて、弘前大が構築した産学官民金連携の取り組みや研究成果、社会実装について理解を深めた。

（稲葉智絵）

弘前大COIネクストは、健康を基軸とした経済発展モデルと全世代へのアプローチによって「ウェル

ビーイングな地域共創社会」の実現を目指す取り組みで、弘前市などと共同で実施する大規模住民合同健診「岩木健康増進プロジェクト」の超多項目な健康ビッグデータを核に、多くの企業や大学が参画して研究を進めている。

サミットは弘前大と県、弘前市が主催。東京大の大江和彦名誉教授らによる特別講演に続いて、特別企画では地元自治体が弘前大開

発の「QOL健診」を活用した取り組み、参画企業が共同研究の成果や社会実装の最前線を紹介した。

世界的な先端ウェル

ビーイング研究の実証、開発拠点を目指すとし、「国

内外の研究者を集結させ、「受診団体に合わせてカス

タマイズ」「移動型」「人

工知能（AI）の活用」と

いった提案が出た。村下副

学長は「多くのヒントを頂

いた。私たちが目指す社

会の構築に向けて力強く

進めていく」と意気込

んだ。